平成25年９月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年８月９日

上場会社名	株式会社アサカ理研		上場取引所　東
コード番号	5724	ＵＲＬ　http://www.asaka.co.jp/	
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）山田　慶太	
問合せ先責任者	（役職名）取締役管理本部長	（氏名）鈴木　忍	ＴＥＬ　024-944-4744
四半期報告書提出予定日	平成25年８月９日	配当支払開始予定日　―	

四半期決算補足説明資料作成の有無：　無

四半期決算説明会開催の有無　　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年９月期第３四半期の連結業績（平成24年10月１日～平成25年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年９月期第３四半期	7,101	△32.0	236	19.9	234	123.2	138	138.9
24年９月期第３四半期	10,436	15.8	197	△38.1	105	△68.8	58	△25.0

（注）包括利益　25年９月期第３四半期　137百万円（116.8%）　24年９月期第３四半期　63百万円（△20.3%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年９月期第３四半期	55.77	―
24年９月期第３四半期	23.34	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年９月期第３四半期	4,681	2,221	47.2	888.66
24年９月期	4,514	2,115	46.7	848.43

（参考）自己資本　25年９月期第３四半期　2,210百万円　24年９月期　2,110百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年９月期	―	0.00	―	15.00	15.00
25年９月期	―	0.00	―		
25年９月期（予想）				15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年９月期の業績予想（平成24年10月１日～平成25年９月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,151	△30.1	273	9.7	270	127.1	160	117.6	64.37

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無
　新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　有

② ①以外の会計方針の変更　：　無

③ 会計上の見積りの変更　：　有

④ 修正再表示　：　無

詳細は、添付資料３ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年９月期３Ｑ	2,572,300株	24年９月期	2,572,300株
② 期末自己株式数	25年９月期３Ｑ	84,731株	24年９月期	84,697株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年９月期３Ｑ	2,487,593株	24年９月期３Ｑ	2,487,614株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー報告書を受領しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

1．当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の持ち直し、好調な個人消費や公共投資、設備投資の下げ止まりなど、長期にわたった不況を抜け出し、回復の方向へ向かいはじめました。

当社グループの経営成績に大きく影響を及ぼす、電子部品・デバイス工業分野においては、最終製品市場の構成変化や、東アジア全体にわたるサプライヤー同士の競争激化の影響で、生産活動は弱含みで推移しました。一方、主力製品である金と銅の価格は、期首からの円安に連れて上昇したのち、海外金属市場の下落に合わせる形で軟調に推移しましたが、いずれも前年同期を上回る価格水準で推移しました。

このような環境のもと、当社グループでは、年度目標である、新しい市場の開拓、新たな事業基盤となり得る新規事業の構築、生産の効率化や新規事業創出のための技術開発、社内諸制度の変革を通じた経営管理体制の強化に取り組み、企業価値の向上に努めてまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間において、金属価格が上昇した影響を受けながらも、市場環境の変化や、取引形態変更による受託加工取引の割合の上昇によって、売上高は7,101百万円（前年同四半期比32.0%減）となりました。営業利益は、金属価格の上昇等によって、236百万円（同19.9%増）となりました。経常利益は、デリバティブ評価損の減少により、234百万円（同123.2%増）となりました。四半期純利益は、138百万円（同138.9%増）となりました。

なお、貴金属事業における一部の売買取引を受託加工取引に切り替えたことにより、取引形態変更見合分の売上高が減少しておりますが、これによる営業利益への影響はございません。

各セグメントの業績は、次のとおりです。なお、各セグメントの金額については、セグメント間取引を含んでおります。

（貴金属事業）

当事業の主要なお客様が属する電子部品・デバイス工業分野の生産は、前年同期に引き続き弱含みで推移しました。市場環境の変化や、取引形態変更による受託加工取引の割合の上昇によって、貴金属の販売数量は前年同期実績を大きく下回りました。また、主力製品である金の価格は、前年同期を上回る水準で推移しました。この結果、売上高は、6,529百万円（同32.3%減）となりました。セグメント利益は、588百万円（同51.1%増）となりました。

（環境事業）

当事業の主要なお客様が属する電子回路基板業界の生産は、前年同期に引き続き減少しました。市場環境の変化も相まって、当社の電子回路基板向けエッチング液及び銅ペレットの販売数量は、前年同期の実績を大きく下回りました。また、銅ペレットの販売価格は、前年同期をやや上回る水準となりました。この結果、環境事業全体の売上高は539百万円（同26.8%減）となりました。セグメント利益は、売上高減少の影響により、35百万円（同63.7%減）となりました。

（その他）

システム受託開発事業においては、売上高が前年同期実績を下回りました。また、運輸事業においても、厳しい事業環境が続いております。この結果、その他の売上高は、149百万円（同12.2%減）となり、セグメント損失は、売上高減少の影響で、0百万円（前年同四半期は20百万円の利益）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりであります。

（資産の部）

前連結会計年度末に比べて166百万円増加し、4,681百万円となりました。

主な要因は、受取手形及び売掛金が51百万円減少し、現金及び預金が84百万円、たな卸資産が93百万円増加したことによるものです。

（負債の部）

前連結会計年度末に比べて60百万円増加し、2,460百万円となりました。

主な要因は、未払法人税等が80百万円、短期借入金が50百万円、社債が40百万円増加したことによるものです。

（純資産の部）

前連結会計年度末に比べて106百万円増加し、2,221百万円となりました。

主な要因は、利益剰余金が101百万円増加したことによるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

昨今の事業環境や最近の業績動向を踏まえ、平成25年９月期（平成24年10月１日～平成25年９月30日）の業績予想について、本日（平成25年８月９日）修正発表しております。詳細については、本日発表の「平成25年９月期通期業績予想の修正についてのお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年10月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による、当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成24年９月30日)	当第３四半期連結会計期間 (平成25年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,031,642	1,115,876
受取手形及び売掛金	344,845	293,341
商品及び製品	617,644	447,233
仕掛品	308,490	573,486
原材料及び貯蔵品	17,415	16,040
繰延税金資産	43,628	29,607
その他	188,485	206,377
流動資産合計	2,552,151	2,681,963
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,185,046	1,228,981
減価償却累計額	△653,864	△682,300
建物及び構築物（純額）	531,181	546,681
機械装置及び運搬具	1,830,975	1,954,588
減価償却累計額	△1,535,465	△1,629,626
機械装置及び運搬具（純額）	295,510	324,961
土地	880,137	880,137
リース資産	71,234	71,234
減価償却累計額	△31,380	△40,937
リース資産（純額）	39,854	30,296
建設仮勘定	21,100	9,519
その他	163,276	166,223
減価償却累計額	△147,661	△150,213
その他（純額）	15,615	16,010
有形固定資産合計	1,783,400	1,807,606
無形固定資産	25,416	24,426
投資その他の資産		
投資有価証券	73,869	71,450
繰延税金資産	9,049	19,158
その他	70,894	77,060
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	153,791	167,647
固定資産合計	1,962,608	1,999,680
資産合計	4,514,759	4,681,644

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成24年９月30日)	当第３四半期連結会計期間 (平成25年６月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	153,134	175,930
短期借入金	678,370	728,765
1年内償還予定の社債	50,000	260,000
リース債務	13,445	13,010
未払法人税等	72	80,462
その他	449,878	380,471
流動負債合計	1,344,901	1,638,640
固定負債		
社債	490,000	320,000
長期借入金	204,950	167,450
リース債務	28,406	18,718
長期未払金	229,460	229,460
退職給付引当金	54,284	38,019
資産除去債務	47,305	47,942
その他	42	―
固定負債合計	1,054,448	821,590
負債合計	2,399,349	2,460,231
純資産の部		
株主資本		
資本金	504,295	504,295
資本剰余金	339,295	339,295
利益剰余金	1,288,292	1,389,710
自己株式	△46,426	△46,444
株主資本合計	2,085,458	2,186,856
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,098	23,739
その他の包括利益累計額合計	25,098	23,739
新株予約権	4,853	10,816
純資産合計	2,115,410	2,221,412
負債純資産合計	4,514,759	4,681,644

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 (自　平成23年10月１日 至　平成24年６月30日)	当第３四半期連結累計期間 (自　平成24年10月１日 至　平成25年６月30日)
売上高	10,436,318	7,101,397
売上原価	9,220,983	5,895,072
売上総利益	1,215,334	1,206,324
販売費及び一般管理費	1,018,187	970,036
営業利益	197,147	236,288
営業外収益		
受取利息	176	135
受取配当金	832	1,241
受取賃貸料	6,007	5,772
デリバティブ評価益	―	6,450
借入金地金評価益	4,422	―
保険転換差益	5,265	―
その他	2,086	5,565
営業外収益合計	18,789	19,166
営業外費用		
支払利息	16,170	13,710
デリバティブ評価損	74,941	―
地金借入料	5,714	4,849
その他	14,007	2,279
営業外費用合計	110,834	20,839
経常利益	105,102	234,614
特別損失		
固定資産除却損	976	679
特別損失合計	976	679
税金等調整前四半期純利益	104,126	233,935
法人税、住民税及び事業税	1,774	90,231
法人税等調整額	44,290	4,973
法人税等合計	46,064	95,204
少数株主損益調整前四半期純利益	58,061	138,731
四半期純利益	58,061	138,731

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年10月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	58,061	138,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,311	△1,358
その他の包括利益合計	5,311	△1,358
四半期包括利益	63,373	137,372
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	63,373	137,372

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成23年10月１日　至　平成24年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	貴金属事業	環境事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,646,272	734,572	10,380,844	55,473	10,436,318
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	1,861	1,861	114,674	116,535
計	9,646,272	736,433	10,382,706	170,147	10,552,853
セグメント利益	389,705	98,489	488,194	20,765	508,959

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム受託開発事業及び運輸事業であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	488,194
「その他」の区分の利益	20,765
全社費用（注）	△403,856
四半期連結損益計算書の経常利益	105,102

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の一般管理費であります。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成24年10月１日　至　平成25年６月30日）

1．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	貴金属事業	環境事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,528,137	531,592	7,059,730	41,666	7,101,397
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,375	7,490	8,866	107,750	116,616
計	6,529,512	539,083	7,068,596	149,417	7,218,013
セグメント利益又は損失（△）	588,730	35,748	624,479	△126	624,353

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム受託開発事業及び運輸事業であります。

2．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益又は損失（△）	金額
報告セグメント計	624,479
「その他」の区分の損失（△）	△126
全社費用（注）	△389,738
四半期連結損益計算書の経常利益	234,614

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の一般管理費であります。

3．報告セグメントの変更等に関する事項

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年10月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による、当第３四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。